

「馬」をアートで表現！南相馬で子ども交流事業

18日と19日の2日間、原町生涯学習センター（南相馬市原町区小川町322-1）で「南相馬市子ども文化芸術交流事業」が開催されました。この事業は、南相馬市の東日本大震災からの復興をPRするとともに、招待自治体及び南相馬市の子どもたちが、交流を通して文化芸術への創造性を高めることを目的とするもので、南相馬市との交流がある杉並区や小千谷市、名寄市等の子どもたちも参加。南相馬市の伝統芸能「相馬野馬追」にちなんだ「馬」を段ボールで表現しました。

杉並区からは、小学生6名とワークショップの講師として女子美術大学の学生ら12名が参加しました。制作した8頭の馬は、常磐自動車道南相馬鹿島SA（セデッセかしま）をはじめ、南相馬市内での展示を経て、来年の6月には杉並区役所でも展示を行う予定です。

福島県南相馬市は、東日本大震災で大きな被害を受けました。また、その後に起きた福島第一原子力発電所の事故によって、多くの避難生活を送ることを余儀なくされました。平成29年7月29日、南相馬市小高区では、事故後中断していた騎馬武者行列が7年ぶりに再開されました。これは、相馬地方の伝統行事で国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追（そうまのまおい）」に伴うもので、昨年7月に原発事故に伴う避難指示が一部を除いて解除されたことを受けてのものです。

南相馬市は、杉並区の交流自治体で、平成17年5月に「災害時相互援助協定」を締結していて、東日本大震災の発生直後から人的・物的支援を行ってきました。また、新潟県小千谷市や北海道名寄市、福島県北塩原村、群馬県東吾妻町なども、この支援の輪に加わってきました。こうした支援などもあり、南相馬市は明るさを取り戻しつつあります。南相馬市では、震災からの復興を内外に知らせるとともに、子どもたちの文化芸術への創造性を高めること、多様な経験を提供すること、交流を深めそれぞれの地域の活性化につなげることを目的に、杉並区や女子美術大学と連携し「南相馬市子ども文化芸術交流事業」を行うことにしました。



今回は、南相馬市のシンボルでもある「馬」をアートで表現するもので、南相馬市や杉並区などから集まった子どもたちが、8つのチームに分かれ、段ボールで馬を作り上げていきました。また、相馬野馬追には欠かせない「旗印」も制作。女子美術大の学生も加わり、和やかな交流の時間を過ごしました。今回、杉並区から参加した永福小学校5年生の阿曾くんは「みんなと交流できて楽しかった。来年もまた参加したい」と感想を述べていました。

【問い合わせ先】 区民生活部文化・交流課 TEL：3312-2111 内線 3782
区民生活部地域課 TEL：3312-2111 内線 4016